

YAMANASHI Agriculture and Farm Village Symposium  
第7回 やまなし農業・農村シンポジウム

農業の魅力発見につながる

# 新たな 販売・流通の あり方



内容

**特別講演** 菅原文太(山梨県農政アドバイザー)

**基調講演** 木内博一(農事組合法人と郷園 代表理事)  
『和郷園の6次産業化への取り組み』

**パネルディスカッション** 『農業の魅力発見につながる新たな販売・流通のあり方』

パネリスト：木内 博一(農事組合法人と郷園 代表理事)  
畑山 貴宏(畑山農場 代表)  
古屋 健一(株式会社アマノパークス岡島店 青果部チーフ)

コーディネーター：一瀬 裕一郎(株式会社農林中金総合研究所 主事研究員)

定員500名  
**参加費  
無料**

日時 平成26年11月30日(日) 13:00~16:00

会場 山梨県立文学館 講堂 山梨県甲府市貢川1-5-35

【お留意】当日は、会場に十分な駐車場を用意することができます。できる限り公共交通機関をご利用いただくが、乗り合わせてお越しいただきますよう、ご協力をお願いいたします。



特別講演者  
菅原文太

農業生産法人株式会社電土自然農園  
おひさまの里代表取締役  
日本映画界を代表する俳優、農業投資等に高い関心を持ち、多数の講演活動を行う一方、自らも北杜市明野町で農業生産法人を立ち上げ、有機農業を実践している。



基調講演者・  
パネリスト  
木内博一

農事組合法人と郷園代表理事  
農業系大学院卒業後、1990年に就農。専年有志5名で野菜の食産を担い、「和のマネジメントと郷の精神」で約90の農家をグループ化、約50社の取引先に共通ブランドの野菜を販売、加工、流通事業を含め、グループの年商約60億円。 千葉県出身



パネリスト  
畑山貴宏

畑山農場代表  
大学卒業後、山梨県に移住し、就農。現在、80種類以上の野菜を有機農業で栽培するとともに、地域の新規就農者の仲間と立ち上げた共同出荷グループ「のらこころ」の中心的役割を担う。 北海道出身



パネリスト  
古屋健一

株式会社アマノパークス岡島店青果部チーフ  
2003年入社後、電土自然農園を継いで2011年岡島店青果部チーフに就任。2005年にはベジタブル&フルーツマイスターの資格を取得し、野菜・果物のエキスパートとして活躍する目的の若手バイヤー。 山梨県出身



コーディネーター  
一瀬裕一郎

株式会社農林中金総合研究所主事研究員  
大学卒業後、大学院を経て2007年入社。基礎研究部に所属し、農業政策、食品流通、食品供給、地域振興、協同組合、外国農業を専門に活躍中。地元山梨をはじめ、国内外において多数の研究実績を残している。 山梨県出身

主催：山梨県 後援：山梨日日新聞社/山梨放送/テレビ山梨/NHK甲府放送局/エフエム富士

申込期間：平成26年9月16日(日)～平成26年10月31日(金) 先着順で定員500名になり次第、締め切りとさせていただきます。

お申込み・お問い合わせ先

山梨県農政部耕地課

電話：055-223-1626

FAX：055-223-1624

メール：kouchi@pref.yamanashi.lg.jp

ホームページ：

www.pref.yamanashi.lg.jp/kouchi/

山梨 耕地

検索



やまなし農村発見マガジン

# 耕 輝 ~KOUKI~

第3号

